

学習院大学主催シンポジウム『超高齢社会を科学するIV』へ協賛

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場康弘、以下「当社」）は、学習院大学が11月23日（土）に開催するシンポジウム『超高齢社会を科学するIV』＜健康長寿社会のテクノロジー＞に協賛します。

1. 協賛の背景

当社は、超高齢社会をむかえる日本において、認知症に関する社会的課題をSOMPOグループ全体で解決すべき重要な課題ととらえ、「SOMPO認知症サポートプログラム」を展開しています。本シンポジウムは、「認知症予防としてすべきこと、なっても自分らしく暮らせる社会」等、認知症エコシステムについて論じている場であり、認知症への一般理解促進に向け、本シンポジウムに賛同し、協賛することとしました。

2. シンポジウム詳細

本シンポジウムは学生や教職員だけでなく一般参加が可能であり、聴講無料、事前申込不要です。
 ＜第7回学習院大学ブランディング・シンポジウム 第26回生命科学シンポジウム＞

URL：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/events/2019/1018.html>



第7回学習院大学ブランディング・シンポジウム
 第26回生命科学シンポジウム
 『超高齢社会を科学するIV』
 <健康長寿社会のテクノロジー>
 令和元年11月23日(土)
 午後1時30分～午後5時30分(受付開始1時間前)
 学習院大学 西5号館201教室
 目黒台駅から徒歩5分

阿部 圭一
 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
 国立健康・栄養研究所 理事兼所長
 「健康長寿への取り組み～メタボ・フレイル～」

富田 清行
 エーザイ株式会社
 ティンメンシア トータルインクルーシブエコシステム
 アクセシビリティ
 「認知症エコシステムの実現に向けた取り組み」

鈴木 健夫
 シスメックス株式会社 バイオ診断技術センター
 バイオ原料開発部 開発第二グループ 課長
 「超高齢社会における臨床検査の役割と検査試薬開発技術」

歌代 幸子
 ノンフィクション作家
 「100歳の秘訣」



『超高齢社会を科学するIV』
 <健康長寿社会のテクノロジー>
 令和元年11月23日(土)
 学習院大学 西5号館201教室
 ※目黒台駅から徒歩5分

午後1:00 受付開始
 午後1:30 司会挨拶 嶋田 通(理学部・教授)

午後1:40～2:20
 ●阿部 圭一(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 理事兼所長)
 「健康長寿への取り組み～メタボ・フレイル～」
 人生100年時代という意識が始まる中で、健康に関する考え方の多様化が始まっている。これまで肥満(メタボ)予防を中心とした健康の概念が主流となっていたが、最近、高齢者の寿命を決定する因子としてフレイル(虚弱)が注目され始めている。中晩年の肥満予防と高齢者のやせの問題を混然と両立させるための考え方について紹介したい。

午後2:30～3:10
 ●富田 清行(エーザイ株式会社 ティンメンシア トータルインクルーシブエコシステム アクセシビリティ)
 「認知症エコシステムの実現に向けた取り組み」
 認知症は、社会全体で取り組むべき課題として広く認識されるようになり、本年6月に共生と予防を重点とした認知症施策推進大綱がまとまりました。認知症になっても自分らしく暮らせる社会とはどのようなものか、認知症予防に向けて何をするべきなのか、産業の立場から認知症エコシステムの実現に向けた活動を紹介します。

午後3:20～4:00
 ●鈴木 健夫(シスメックス株式会社 バイオ診断技術センター バイオ原料開発部 開発第二グループ 課長)
 「超高齢社会における臨床検査の役割と検査試薬開発技術」
 急速に進む超高齢社会において、膨大な医療費を抑制するためには、従来の画一的な治療から、病気の早期発見や予防を中心とした長寿健康社会の実現への転換が必要である。本講演では、そのために「検査技術」が果たす役割について、弊社の取り組み事例を交えて紹介し、臨床検査が人々の健康的な活動にどう貢献できるかについて考察したい。また、検査技術の発展について紹介し、思えばあるイノベーションが起きていることにも触れたい。

午後4:10～4:50
 ●歌代 幸子(ノンフィクション作家)
 「100歳の秘訣」
 人生100歳時代といわれるなか、まさに生涯現役を貫く方たちがいます。フォジジャーナリスト、プロゴルファー、精神科医、画家、剣道家、俳人……100歳を超えてなお、生きがいをもって日々を過ごす10人を徹底取材。健康の秘訣、食事、思考法、仕事への取り組みなど、波瀾万丈の人生から浮かびあがる「100歳の秘訣」とは何か？

午後5:00 総合討論
 午後5:20 閉会挨拶 高島 明彦(理学部・教授)

3. 今後の展開

当社は、今後も大学研究機関や企業、行政自治体との連携を通じ、お客さまへ従来にない新たな価値「保険+健康 (Insurhealth®：インシュアヘルス)」を提供していきます。

以上

【参考】

学習院大学の「超高齢社会への新たなチャレンジー文理連携型〈生命社会学〉によるアプローチ」は、2016年度私立大学研究ブランディング事業に採択されています。さらなる超高齢社会の到来を見据え、生命科学系における認知症・がん・老化・再生医療分野でのフロント研究の推進により健康寿命の延伸を図ります。

さらに、全学部ワンキャンパス集結という特性を活かし、生命科学の急速な進展に伴って生じうる近未来の社会的諸問題とその対応について文理連携による統合的議論を深める新たな学際領域〈生命社会学〉を創成しつつ、超高齢社会の未来に対応可能な社会基盤の整備に向けた提言を目指します。

■学習院大学ブランディング事業特設サイト

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/research/branding2016.html>